

フランスのマイノリティにおける言語教育

—ブレイス語のディワン学校と在仏アルメニア学校を例に—

発表者：松井 真之介 氏 (異文化研究交流センター研究員)

日時：2012 年 2 月 13 日 (月) 16:00 ~ 17:15

場所：神戸大学大学院国際文化学研究科 学術交流ルーム (E 棟 4 階 410)

入場：無料 (申し込み不要)

概要

「マイノリティが存在しない」前提になっているフランスは、地域土着のマイノリティであれ、土着でない移民のマイノリティであれ、「〇〇人学校」「〇〇民族学校」というものは存在しない。それを公的に標榜してはならない。しかし、自らをマイノリティと認識する諸集団は、「〇〇人」「〇〇民族」という属性ではなく、彼らの話す「言語」によって独自性を打ち出す学校を建設している。

本発表は、発表者が 2011 年夏に訪問したブレイス語 (ブルトン語) の学校「ディワン」と、同時期に訪問調査した複数のアルメニア学校の事例を基に、マイノリティを認めないフランスにおいてどのようにして独自の学校を建設し、どのようにして運営を可能にしているのかを明らかにする予定である。

発表者略歴

神戸大学大学院総合人間科学研究科博士課程修了。学術博士。専門はフランスの移民・マイノリティ研究、アルメニア・ディアスポラ研究。著書に『公共文化施設の公共性』(共著、水曜社、2011 年)。論文に「フランスにおけるアルメニア学校の建設と運営」(『フランス教育学会紀要』第 21 号、2009 年) など。

お問い合わせ (神戸大学大学院国際文化学研究科)

坂本千代研究室 TEL: 078-803-7425 E-Mail: csakamot@kobe-u.ac.jp
異文化研究交流 TEL: 078-803-7650 E-Mail: irec@ccs-srv.cla.kobe-u.ac.jp
センター (IReC) URL: <http://web.cla.kobe-u.ac.jp/group/IReC>



会場への交通

阪神「御影」、阪急「六甲」、JR「六甲道」下車。
市バス 16 系統「六甲ケーブル下」行に乗車。
「神大国際文化学部前」下車。徒歩 3 分。

※阪急「六甲」より徒歩で 20 分ほどですが、急な坂道ですので、上記バスのご利用をお勧め致します。